

「5つのハトのお約束」に基づく独自のサステナブルな取り組み

# サステナビリティ活動一覧

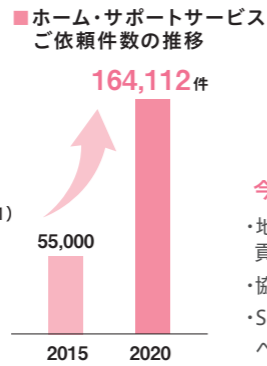


## 奉仕のハト

ISO26000中核主題/人権・消費者課題・コミュニティへの参画

### 2020年度の取り組み項目

- 新型コロナウイルス感染症対策 (P11)
- 平和堂ホーム・サポートサービス (P13)
- ノーマライゼーションの推進 (P19)
- お客様の声に基づく企業経営 (P20)
- お客様満足度向上に向けたICTの活用 (P21)



#### 今後の課題

- ・地域社会へのより積極的な貢献活動
- ・協働による地域課題の解決
- ・SDGsなど国際イニシアチブ<sup>※1</sup>への対応



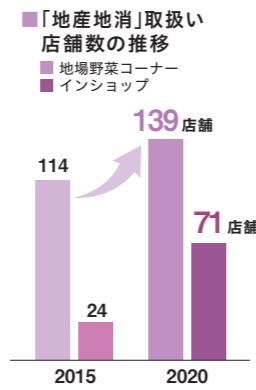
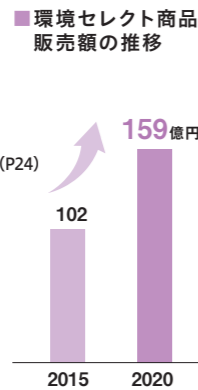
▲レジでの手話対応

## 創造のハト

ISO26000中核主題/環境・消費者課題・コミュニティへの参画

### 2020年度の取り組み項目

- 平和堂ファーム開場 (P15)
- 平和堂石山がオープン (P16)
- 地産地消の推奨 (P23)
- 平和堂ストアブランド「E-WA!」の拡大 (P24)
- 環境貢献型商品 (P25)



#### 今後の課題

- ・地域社会へのより積極的な貢献活動
- ・協働による地域課題の解決



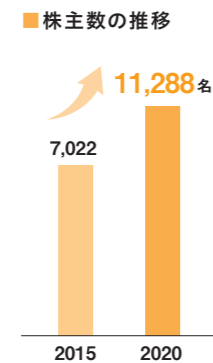
▲地場野菜コーナー

## 感謝のハト

ISO26000中核主題/組織統治・公正な事業慣行・消費者課題

### 2020年度の取り組み項目

- 安全・安心な商品の提供 (P27)
- 公正・公平な取引の推進 (P29)
- 法令順守のための社員教育 (P29)
- 適切な情報開示 (P30)
- 株主優待制度のご案内 (P30)



#### 今後の課題

- ・品質管理体制のさらなる充実
- ・バリューチェーンマネジメントの強化<sup>※2</sup>
- ・よりニーズの高いIR情報の開示
- ・ESG投資<sup>※3</sup>を意識したエンゲージメント<sup>※4</sup>



▲温度管理

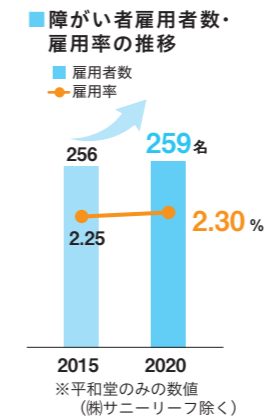
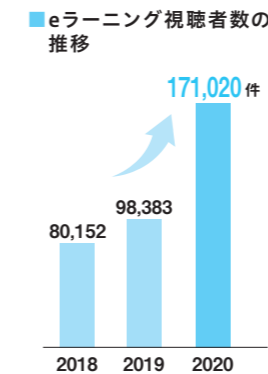
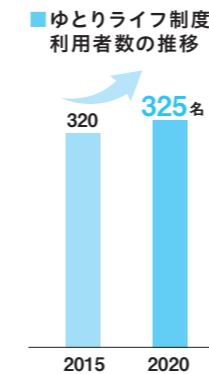
平和堂は経営理念でもある「5つのハトのお約束」に基づいて、サステナブルな取り組み項目を整理し、各担当部署を中心に活動を推進しています。(データは全て2021年2月20日現在のものです)

## 友愛のハト

ISO26000中核主題/人権・労働慣行

### 2020年度の取り組み項目

- 新型コロナウイルス感染症対策 (P11)
- 人材育成 (P31)
- 人事制度 (P31)
- 多様な働き方の推進 (P32)
- 生き生き働ける職場づくり (P33)
- ピカピカ実現活動 (P34)



#### 今後の課題

- ・働きやすく能力を活かせる労働環境の整備
- ・より有効な研修、教育制度の開発
- ・多様な働き方のための支援制度のさらなる充実



▲ICTを活用したオンライン研修

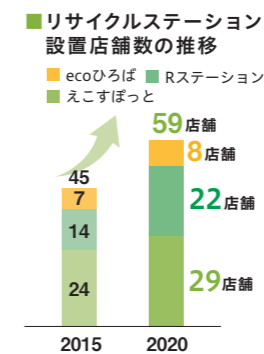
## 平和のハト

ISO26000中核主題/環境・消費者課題・コミュニティへの参画

### 2020年度の取り組み項目

- 食品ロスをゼロへ (P17)
- プラスチックごみ削減への取り組み (P18)
- 食育推進活動 (P35)
- 子ども環境学習「平和堂エコピースクラブ」 (P36)
- 子ども食堂への支援 (P36)
- 循環型社会への貢献 (P37)
- 低炭素社会の実現 (P38)

- 有料レジ袋収益金を寄付贈呈 (P38)
- 「平和の緑づくり」活動 (P38)
- 環境マネジメント (P39)
- 環境会計 (P40)



#### 今後の課題

- ・長期環境ビジョン策定
- ・CO<sub>2</sub>排出量のさらなる削減
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・ゼロ・エミッション<sup>※5</sup>へのチャレンジ
- ・SDGsなど国際イニシアチブへの対応



▲平和の緑づくり

### ■持続可能な開発目標とは

2015年9月に国連本部にて「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。ここで掲げられた17の目標と169のターゲットが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。



※1 「国連グローバル・コンパクト」や「GRI」、「ISO26000」、「SDGs」などの国際的な原則や目標、ガイドライン。

※2 原材料の調達から製品・サービスがお客様に届くまでの一連の活動を適正に管理すること。

※3 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字からなる、企業の成長に欠かせない3つの観点を重視した投資。

※4 情報交換や対話などを通して、より積極的に関わり合う双方向のコミュニケーション。

※5 廃棄物の削減やリサイクルによって、廃棄物の排出をゼロにする仕組み、取り組み。